



# OKINAWA

(社) 沖縄県作業療法士会ニュース 2011年5月 発行

- |  |                      |
|--|----------------------|
| 1 … 巻頭言  | 6 … 教育部よりご案内         |
| 2 … 平成 22 年度後期総会報告<br>公益法人制度改革の概要と<br>県士会の対応について (第3弾) | … 作業療法士リレーエッセイ       |
| 3 … 新役員紹介  | 7 … 第9回沖縄県作業療法学会について |
| 4 … 研究会紹介  | 8 … お知らせ<br>編集後記     |

## 巻頭言

(社) 沖縄県作業療法士会 会長 比嘉 靖 (県立精和病院)

初めに今回の大地震、大津波により亡くなられた方々へのご冥福をお祈りいたします。会員の皆様におかれましても日々報道される被災地の惨状に心痛めているものと察します。私自身被災された方々の救済に何ができるのか自問自答の毎日です。

徐々にですが、岩手県士会、宮城県士会、福島県士会から情報も発信されるようになりました。避難所や仮設住宅等の新たな生活環境のもと、活動制限から廃用性症候群、エコノミークラス症候群の発症等、問題が多岐にわたっています。心のケアチームも現地に入るようになりましたが絶対数は足りません。必要な人員や物資の確認、その供給システムの確立を考えると正確な情報のもと、国・県行政、協会・県士会等との連携が必要です。

平成 22 年度後期総会では新理事体制、平成 23 年度予算の承認を得ました。被災地支援の初期対応として沖縄県士会は義援金送付を決定しましたが、引き続き新三役を中心に災害対策委員会（仮称）を立ち上げ、継続した支援の在り方を検討していきます。

HP 等で発信するので注視ください。また、会員の皆様には県内外問わず被災士会員の情報提供をお願いいたします。下記アドレスにてお受けいたします。

被災復興に向け何ができるのかを共に考え、支援の輪を広げていきましょう。



社団法人 沖縄県作業療法士会  
会長 比嘉 靖  
[higa\\_yasushi\\_ot@yahoo.co.jp](mailto:higa_yasushi_ot@yahoo.co.jp)

開催日時：平成 23 年 3 月 19 日 19 時 30 分～20 時 45 分

開催場所：沖縄県総合福祉センター 403 号室

出席会員数：442 名（本人出席：46 名、委任状出席：369 名） 会員総数：619 名

議長：野尻真生氏（オリブ山病院） 書記：又吉可奈子氏、米山恵利加氏（オリブ山病院）

議事録署名人：吉ヶ島明子氏、木下匠氏（オリブ山病院）

第 1 号議案 平成 23 年度事業計画の件

平成 22 年度後期総会議案書に基づき、平成 23 年度事業計画を報告⇒承認。

第 2 号議案 平成 23 年度予算案の件

平成 23 年度予算報告書に基づき、平成 23 年度予算について報告⇒承認。

第 3 号議案 平成 23 年度新体制（理事）について

比嘉靖氏より、平成 23 年度新体制（理事）について報告⇒承認。

第 4 号議案（緊急動議）

比嘉靖氏より、公益法人移行にむけたタイムスケジュールに関して、執行部案を報告⇒承認。

第 5 号議案（緊急動議）

比嘉靖氏より、今回の東北・関東大震災に対して、法人予算より 1 会員当たり 500 円の計算で（309,500 円）日本作業療法士協会を通して、被災地に義援金を送りたいとの執行部案を報告⇒承認。

# 公益法人制度改革の概要と県士会の対応について（第 3 弾）

(社) 沖縄県作業療法士会会長 比嘉 靖

## 県士会移行スケジュール

法人の分類	民法法人	特例民法法人				移行法人	
	H20.12.1	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
作 業	情報収集開始 新会計基準への移行準備（事業区分・勘定項目）	会計事務所の指導にて会計基準の見直し 理事会にて勉強会	県士会ニュースにて会員への情報提供 後期総会にて説明会実施・理事会提案	情報提供及び・説明会実施 総会にて移行登記を条件とする定款変更決議 移行認可申請 移行認可	特定民法法人解散登記・移行法人設立登記 主務官庁に登記事項証明書等の届出		平成25年11月末日 移行締切

## 新役員紹介



**理事 (会長) : 比嘉靖 (県立精和病院)**

皆様こんにちは！ 昨年の九州合同学会開催に際しては会員の力を結集して盛況のうちに終えることができ大変感謝しております。この何年かの重荷から解放され、しばらく気が抜けたようになっていました。そんなところに今回の震災。県士会も法人移行を控えており、すべてがターニングポイントになるようなそんな気がしていて、新たな2年間を任された責任を感じております。会員の皆さんとの対話をテーマに会運営を活発なものにしていければと思っています。熱く熱く語り合いましょう。よろしくお願いいたします。



**理事 (副会長、渉外部、学会担当) : 矢野俊恵 (南部病院)**

継続して副会長をさせていただきます。前任期は、第32回九州合同学会の運営に比重を置かざるを得ない状況となりました。今期は学会担当の他、渉外部長を兼任させていただきます。渉外部長としては、主に会長が担っている渉外部の業務を整理・補佐し、他の部との連携強化を図ります。また、県学会に関しては、研究会会員の皆様の協力を得つつ、県学会の方向性や組織などを含めた学会運営の手引き(仮)の作成に着手し、例年スムーズに開催できるようなシステム作りに努めます。どうぞよろしくお願い致します。



**理事 (副会長、福利厚生部担当) : 桑江良貴**

(ノーブルメディカルセンター)

初めまして、ノーブルメディカルセンターの桑江と申します。副会長と福利部を担当することになりました。大役を任せられ責任を強く感じていますが、県士会運営を介して皆様の作業療法士魂がさらに熱く燃え上がるよう努めたいと思います。そのためには会員である皆様のお力添えが必要不可欠です。是非、今後とも皆様の県士会へのご理解とご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



**理事 (事務局、財務部担当) : 久貝明人 (宜野湾記念病院)**

今回、事務局(事務局長兼任)と財務部の理事を兼任する事になりました。事務局に関しては、主に、法人移行に向け、会員の皆様にご意見やご協力をいただきながら準備を進めていきたいと考えています。

財務部に関しては、現在70%前後に止まっている県士会費納入率を向上し、より充実した県士会運営を会員の皆様に還元できればと考えています。

微力ではありますが、よりよい県士会を目指し努力していきますので、会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。



**理事 (学術部担当) : 石川丈**  
(宜野湾記念病院)

学術部は県士会員の作業療法士としての知識・技術向上や自己研鑽を目的に研究会活動支援や学術誌発刊を中心に活動しております。今年度も研究会は7団体が活動することになっており、臨床場面で抱えている悩みを気軽に相談できる場所でもあります。是非、研究会が主催勉強会を活用頂き、作業療法士を必要としている方へよりよいリハビリテーションサービスを提供して頂きたいと思っています。また、学術誌は第5号を発刊に向け、原稿依頼等を実施しております。これまで以上に充実したものにする為、内容を検討していきますので、ご協力よろしくお願いいたします。



**理事 (教育部担当) : 土田真也**  
(沖縄リハビリテーションセンター病院)

今期より理事に就任いたしました。昨年度までは2期4年、教育部長として県士会事業に携わってきましたが、今後は現場の運営だけでなく、県士会全体の活動をみながら、各部の連携・バランスの中で私たちの生涯教育のことを考えていきたいと思っています。

今年度までは教育部長を兼任する予定です。生涯教育制度についての不明な点などございましたらお問い合わせください。また、今年度も各種研修会、事例検討会などを予定しています。ご参加お待ちしております。



**理事（事業部担当）：波多野晶子**  
(琉球リハビリテーション学院)

この度、事業部理事を務めさせていただくこととなりました。昨年度は事業部員として携わっておりましたが、今後は理事として部長、部員のみなさんと、OT フェアを中心に、OT が素敵な仕事だということを広くアピールできるよう努めてまいります。

他の部のみなさんからもたくさんの知恵をいただき、より充実した活動ができるよう努めていきたいと思っております。事業部以外の方からでも、OT フェアについてのご意見などお待ちしておりますので、皆様ご協力よろしくお願いいたします。



**理事（保険部担当）：上江洲聖**  
(那覇市安謝福祉複合施設)

今年度より保険部理事を務めることとなりました。諸先輩方を差し置いての就任で恐縮ですが、先輩方が築き上げてきた県士会と会員のみなさんに貢献できるよう努力いたします。次年度は医療保険、介護保険のダブル改定となります。正確な情報を迅速に会員のみなさんに届けるため、新たに沖縄県 OT 会保険部の HP を開設いたしました

(<http://okinawaotokenbu.blogspot.com/>)。医療、介護保険の領域だけではなく、保健、福祉の情報も集めて提供いたします。



**理事（広報部担当）：田村浩介**  
(琉球リハビリテーション学院)

この度、理事に就任致しました。広報部は、県士会ホームページの管理・運営、年に 4 回の広報誌の発行、

FAX 通信などを行ってまいります。内（県士会員）に向けての広報活動については、会員のみなさまより、声を頂戴しながら発展に努めてまいります。そして、外（地域に対して）に向けての広報活動についても取り組んでいきたいと考えています。また、北部、中部、南部、離島のそれぞれの地区に広報部員を配置したいと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

平成 23 年度

### (社) 沖縄県作業療法士会前期総会のお知らせ

と き：平成 23 年 6 月 11 日（土）19 時から  
と ころ：沖縄県総合福祉センター 401 号室  
※ 出席できない方は、委任状の提出をお願いします。

### 平成 23 年度 新入オリエンテーションのお知らせ

と き：平成 23 年 7 月 9 日（土）19 時から  
と ころ：沖縄県総合福祉センター  
※ 18 時より、同会場にて入会受付を致します。  
※ 詳細は、ホームページ等でお知らせいたします。

## 研究会紹介

学術部 石川 文

今年度も 7 団体の研究会が一年間を通し、定期勉強会や研修会を開催していくことになりました。それぞれの研究会が県内で活躍する作業療法士や他職種と共に、知識や技術向上を図るべく活動していきます。

県士会員（県士会費納入が済んでいる方）であれば経験年数に関係なく誰でも参加できます。是非、足を運んでみて下さい。

### 地域連携リハビリテーション研究会

沖縄県訪問リハビリ研究会は今年度から「地域連携リハビリテーション研究会」に名称変更し、訪問に限らず患者さんを地域の OT で支えるネットワークや、「病院→訪問や通所」「OT と他職種」の連携について皆さんと勉強したいと考えます。隔月、明日から使える気付きや視点をポイントに勉強会を予定しています。開催地域を南部・那覇市内・中部・北部と巡ることも検討中です。皆様のご参加をお待ちしています。



代表者：喜田 浩司

所属：医療法人葵会 ごきげんリハビリクリニック

メール：kidagokigen@yahoo.co.jp

### 臨床作業活動研究会

臨床作業活動研究会は、臨床において作業がどのように扱われているか、現状を言葉で表現し、その可能性について検討しようとする会です。様々な現場や様々な考えをもつ作業療法士が集い率直な言葉で議論を重ねていきたいと思っておりますのでお気軽にご参加下さい。



代表者：照屋 盛之

所属：沖縄リハビリテーション福祉学院

連絡先：m-teruya@group.omotokai.jp

### 沖縄福祉用具支援技術研究会

研究会として、シーティングなど様々な福祉用具の検証を実施。そのデータをまとめるという基本的な活動と神戸学院大学の古田教授の「ノンスリップ資材」に関する実験・研究・開発を実施しています。勉強会や症例検討も2ヶ月に1回の活動の中に入れる予定です。一緒に活動してみませんか。



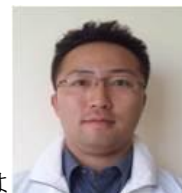
代表者：金城知子

所属：沖縄リハビリテーション福祉学院

メール：yhbpr686@yahoo.co.jp

### 沖縄作業行動研究会

当研究会はクライアントの求める“作業”をMOHO（人間作業モデル）を中心に検討していく勉強会です。「理論は難しい・・・」と思っている人は多いと思いますが、まずは来てみてください！！みんなでいろんな悩みを解決していきましょう！！



代表者：田原行英

所属：琉球リハビリテーション学院

メール：tahararyukyu@yahoo.co.jp

### 沖縄県作業療法教育法研究会

いま、目の前の患者さん、利用者さんに精一杯に尽くすこと。それだけでは不十分です。経験や学習から得た知識、技術、考え方を伝えることについて、学びを共に深めましょう。実習教育、卒後教育について情熱、アイデア、問題提起がある方連絡をください。ONE PIECEを模索中



代表者：上江洲 聖

所属：那覇市安謝福祉複合施設

メール：uezuse@gmail.com

### 沖縄作業科学研究会

私たちの生活は数多くの作業から成り立ち、彩られています。作業から切り離されてしまったクライアントが作業を取り戻せるよう支援するために、作業に関する知識や、作業を捉える視点を持つことが大切だと考えて活動しています。一緒に作業を深めましょう。



代表者：村上典子

所属：豊見城中央病院

メール：nmurakami@yuuai.or.jp

### 沖縄県精神科作業療法研究会

当研究会は歴史が長く、ベテランの先輩OTと若手OTと一緒にディスカッションできる大変貴重な場です。また今年度は、内地から講師をお招きして講演をしていただくことも数回企画しておりますし、PSW協会との合同企画も考えております。楽しいこと満載で多くの方の参加をお待ちしております。楽しいことだけではなく、ある一定のレベル以上の学術的活動が継続しているという保証にSIG（Special Interest Group）も申請中です。他領域の方の参加も大歓迎ですのでどうぞお気軽に参加ください。



代表者：仲地宗幸

所属：オリブ山病院

メール：nakachis@nirai.ne.jp

### 【学術部問合せ先】

沖縄県宜野湾市宜野湾 3-3-13  
宜野湾記念病院 リハビリテーション部  
作業療法室 OT 石川 丈  
TEL: (098) 893-2101  
メール：oki\_gakuzyutubu@yahoo.co.jp

### 第47回POTA全国研修会 in 沖縄

日時：平成23年10月8日（土）～9日（日）  
場所：沖縄県総合福祉センター  
参加申し込み：8月末日まで  
お問い合わせ先：  
医療法人天仁会 天久台病院 精松知子  
Fax: 098-868-2680

お詫び：今回の広報誌発行は4月を予定しておりましたが、5月の発行になりました。

発行が遅れたことをお詫び申し上げます。（広報部）



教育部よりご案内

土田真也(教育部担当理事・教育部長)

●現職者選択研修(身障)を開催しました:2011年1月16日

沖縄リハビリテーション福祉学院を会場に、急性期のOT(下里綱さん:大浜第一)、回復期のOT(石川丈さん:宜野湾記念)、在宅期のOT(小橋川直さん:リハセンター病院)、就労支援(稲福智子さん:元ゆい沖縄)、ハンドセラピー(下地みさ子さん:沖リハ学院)の5テーマを学びました。OTの一連の流れを知り、各自が仕事をしている時期の特徴と役割を考え直すことが目的でした。1日という限られた時間の中でしたが、普段接しない時期のOTの話の聞けるいい機会になりました。



●事例検討会(22年度2回目)を開催しました:2011年1月23日

沖縄リハビリテーション福祉学院を会場に、10演題の発表と16名の参加で事例検討会(生涯教育制度、現職者共通研修の「事例検討」「事例報告」にあたる)を開催しました。脳卒中や認知症に加えて今回は内部障害の症例が多かったことが印象的でした。各発表とも少人数でのグループディスカッションとなり、和気あいあいと盛り上がっていました。発表者のみなさん、アドバイザーのみなさん、お疲れさまでした。

●日本作業療法士協会 認定作業療法士取得研修「管理運営」が県内開催されました:2011年2月26日・27日

県外からの2名を含む22名の受講で開催されました。宇田薫さん(大浜第一)を含む講師3名からの講義をもとに、グループワークで課題に取り組みました。(基礎研修が座学中心であるのに対して、認定OT取得研修では主体的に取り組む時間が多いのが特徴です)。管理運営をテーマに、各職場の情報を交換するよい機会にもなったようです。今年度も1講座、県内での開催が予定されているようです。この研修については、OT協会のニュースやホームページを注意してみてください。



●今年度の研修会計画

現職者共通研修(7月24日予定)、事例検討会①(10月2日予定)、事例検討会②(1月22日予定)のほか、日程未定ですが、現職者選択研修(精神障害)などを予定しています。詳細が決まりましたらまた広報をいたします。

作業療法士リレーエッセイ

沖縄県の作業療法士を紹介します。第2回は山内峰雪さん(県立中部病院)です。

こんにちは。私は県立中部病院作業療法士三年目の山内峰雪です。私は2年前に作業療法部門の立ち上げで入職しました。県立中部病院は急性期病院であり脳血管、呼吸器、循環器、運動器全般で理学療法士9名、作業療法士1名で診療しています。作業療法は、急性期の脳卒中リハ中心に呼吸器や運動器疾患を担当しています。患者さんの状況に合わせ、機能訓練からADL訓練、退院前在宅指導などを行っています。立ち上げで新人の時は不安でしたが、これまで理学療法スタッフや作業療法士の先輩や仲間からアドバイスを受け働いてきました。

私が作業療法士になりたいと思ったきっかけは父親でした。父は小児麻痺で体に麻痺が残りましたが、自分自身やりたい事や家族の支えとして人生を楽しんでいます。そんな父の姿を見て育ったからです。作業療法の専門性を理解してきた近頃は、父の姿をとてすばらしく思います。そして作業療法という職業の魅力と重要性を実感しました。現在、作業療法士1名というさびしい現状もありますが、リハスタッフ全員で患者様の支援に奮闘しています。まだまだ作業療法の専門性を発揮出来ない部分もありますが、それぞれの患者様の想いを形にできるように支援していきたいと思っています。これからも宜しくお願いします。



山内さんからのバトンは誰の手に!? 次回をお楽しみに!

第9回 沖縄作業療法学会について

学会長 田原行英 (琉球リハビリテーション学院)

この度、3月11日に発生した東日本大震災において、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々やその関係者の皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

さて、今年で第9回を迎えます沖縄県作業療法学会の学会長を務めさせていただくことになりました。今回のテーマは「明日への懸け橋 -それぞれの物語を未来へ-」と題しまして11月13日(日)に行われます。主旨としましてはテーマの通り、個々人が持っている物語を未来につなげることにあります。クライアント、ご家族、チーム、OT自身にも、それぞれの過去があり、現在に至り、そして未来へつながっていくと考えられます。私たちOTはクライアントと出会ったときから協業関係を築き、アプローチを提供していくと思います。そのクライアントには過ごしてきた過去があり、OTと出会った現在があります。その人生史を基にOTがクライアントの“なりたい自分になる”未来につなげる「懸け橋」となる。また、OT自身もそれぞれが経験してきた日々の楽しみや悩みから生まれる苦しみを他のOTと共有することで、クライアントが自分らしく生活できるアプローチの展開を新たに得る事ができるよう、この学会が出会いの「懸け橋」になればという思いからこのテーマを掲げました。この学会が皆様の一助となるように邁進していきますので、是非ともご参加の方、宜しくお願い致します。

テーマ：「明日への懸け橋 -それぞれの物語を未来へ-」

【会期】平成23年11月13日(日)

【募集期間について】

- a. 演題募集期間 (意思表示のみ) 5月16日(月) ~ 6月10日(金)
- b. 抄録原稿受付期間 7月1日(金) ~ 7月31日(水)



【意思表示について】

以下の項目をご記入の上、下記の連絡先までメールでお送り下さい。このメールにより意思表示があったと確認させていただきます。

- ①所属・施設名 ②氏名 ③会員番号 ④今年度の会費納入状況 ⑤演題のタイトル (仮でも構いません)
- ⑥分類 (下記の表より選択してください)
- ⑦口述・ポスターの別 (会場配分の都合によりご希望に添えない場合がありますことをご了承ください)

《分類》

<p>A. 疾病</p> <p>01 疾病 (診断, 障害, 症状, 属性, 治療法を含む)</p> <p>B. 身体構造</p> <p>02 筋骨や末梢神経の障害 (スプリント, 義肢を含む)</p> <p>C. 心身機能</p> <p>03 感覚-運動・機能 (脳卒中, 頭部外傷を含む)</p> <p>04 認知機能 (高次脳機能障害を含む)</p> <p>05 知的機能 (知能, 認知症を含む)</p> <p>06 発達 (発達の障害を含む)</p> <p>07 精神障害 (精神関連疾患を含む)</p>	<p>D. 個人因子</p> <p>08 心理 (ストレス, 障害受容, 性格, 興味を含む)</p> <p>E. 活動・参加</p> <p>09 対人関係 (コミュニケーション, 対人関係スキルを含む)</p> <p>10 セルフケア (ADL, IADL, 家屋改造を含む)</p> <p>11 仕事 (復職援助, 職業リハビリテーションを含む)</p> <p>12 余暇活動 (手工芸, スポーツ, 趣味, 旅行を含む)</p> <p>13 作業全般 (作業遂行技能, 自立生活, 地域生活を含む)</p> <p>14 治療的作業 (作業特性, 作業分析, 集団を含む)</p>
---	--

【抄録原稿について】

A4用紙。本文には【目的】【方法】【結果】【考察】【まとめ】などの小見出しを必ず【】をつけて分類して下さい。タイトルは11ポイント。MS明朝体、2段組み、1200字以内。印刷時は1行25字×48字となります。図表は入れることができません。

(ワード2007以下でお願いします)

演題名、所属、発表者氏名、共同発表者氏名は、左段上に入力。発表者本人には○印を付けてください。

抄録募集開始時にはホームページのサンプルをご参照下さい。

【当日の演題発表について】

一演題につき、発表7分、質疑応答3分です。

お問い合わせ先及び演題募集先 okinawaendai9@yahoo.co.jp

〒901-0042 沖縄県豊見城市字上田 25 豊見城中央病院 作業療法室

第9回沖縄県作業療法学会 抄録担当：村上典子

詳細及びテンプレートは、県学会ホームページ内に掲載予定

ホームページ <http://sites.google.com/site/9thokinawaot/home/>

## 財務部よりお知らせ

沖縄県作業療法士会では、学術技能の向上を目的に学会や研修会・講演会の開催や、学術誌の発行などを行っております。これらの運営は、みなさまからの会費によって成り立っております。また、参加の際には会費納入が条件として挙げられていることから、未払いによる不利益が生じる場合があります。個人、または全会員に対し意義ある県士会としての円滑な運営がなされるためにもみなさまのご協力が必要です。会費納入にご協力頂けるよう、宜しく願いいたします。

振込先 ; 琉球銀行 宜野湾支店  
口座番号 ; 493549  
口座名 ; 沖縄県作業療法士会  
年会費 ; 7,000 円 (振込に関わる手数料は各自ご負担ください)

- ※ 未納がある場合は納入額が変わります。
- ※ 新入会の方は、事務局への入会手続き終了後のお振込みをお願いいたします。
- ※ 改姓の場合も同様に事務局への変更手続きをされるようお願いいたします。
- ※ 振込み名は会員名でお願いいたします (振込み名が異なる場合は FAX にてその旨をご連絡下さい)。
- ※ 納入額が不明の際には下記までご連絡ください。  
(スムーズな対応のためになるべく FAX のご利用をお願いいたします)

財務部 比嘉孝子 (いずみ病院 リハビリテーション部)  
TEL (098) 972-7788  
FAX (098) 972-7319

## 広報部よりお知らせ

(社) 沖縄県作業療法士会のホームページ <http://www.okinawa-ot.net/>

# 広報誌の名前を募集します！

応募方法：件名に「広報誌の名前応募」と入力し、広報部アドレス [ot\\_kouhou@yahoo.co.jp](mailto:ot_kouhou@yahoo.co.jp) へメールで応募ください。

締め切り：平成 23 年 6 月 30 日 (木) 17 時までと致します。

- ※ 理事会審査の後、決定致します。新しい広報誌の名前は、次号より採用する予定です。
- ※ 尚、選ばれた方には、図書券 1000 円分をさしあげます！！



ラストチャンス!!

## 研修会案内のニュース・WEB サイト掲載

(社) 沖縄県作業療法士会ニュースおよび沖縄県作業療法士会 WEB サイトに研修会案内などの掲載を希望する場合は、記事原稿を添付し、広報部 E-mail まで送信ください。尚、記事のフォント・掲載形式は広報部編集担当が調整致します。

- ※ ニュースの原稿は発行前月 15 日までに送ってください。(平成 23 年度は 4 月、7 月、10 月、1 月の 4 回を予定)
- ※ WEB サイトへの掲載は、随時受け付けております。
- ※ 掲載費用は必要ありません。
- ※ 営利目的の割合が大きいと判断された場合等、掲載不適切と判断された場合は、掲載をご遠慮いただくことがありますのでご了承ください。
- ※ 研修会案内の掲載、記事の投稿、ご意見、ご要望、ご感想など、下記アドレスまでメールください。

(社) 沖縄県作業療法士会 広報部 E-mail [ot\\_kouhou@yahoo.co.jp](mailto:ot_kouhou@yahoo.co.jp)

### 編集後記

今年度より広報部長を久田さん(琉球リハビリテーション)にお願いしました。これまで諸先輩方が築いた歴史・文化を大切にこれからの未来を創ること。これからのをよりよくするためにみなさまより、たくさんの声を頂戴したいと考えています。最近、デイゴの花が咲いているのを見ました。デイゴは沖縄県の県花で花言葉は「夢」だそうです。なんだか力が湧いてきました。デイゴの花を見るたびに力が湧いてくると思います。そして、それはきっとこころの底からです。(社) 沖縄県作業療法士会 広報部 理事 田村浩介 (琉球リハビリテーション学院) 広報部長 久田直希 (琉球リハビリテーション学院) 広報部員 泰真実 (北中城若松病院) 原田伸吾 (ごきげんリハビリクリニック)

事務局：社団法人 沖縄県作業療法士会 〒903-0804 那覇市首里石嶺町 4-373-1 沖縄県総合福祉センター内  
Tel・Fax : 098-988-3711 E-Mail : [oki\\_ot\\_a\\_kugai@yahoo.co.jp](mailto:oki_ot_a_kugai@yahoo.co.jp)  
事務局長：久貝 明人 (カガイアキト) 宜野湾記念病院 リハビリテーション科  
〒901-2211 宜野湾市宜野湾 3-3-13 Tel : 098-893-2101 Fax : 098-892-8863  
発行人：比嘉 靖 (会長) 編集人：田村 浩介 (広報部担当理事) 印刷：丸正印刷株式会社